

令和7（2025）年度中期計画自己点検・評価
全学自己評価実施委員会 内部質保証推進委員会 評価

分野	担当委員会	分野自己評価	全学自己評価	主な課題・改善方向性	内部質保証推進委員会による確認
教育	教務委員会	一部に課題はあるが、計画の方向性は維持	妥当	調査結果を試行・制度化・効果検証へ接続	改善指示なし
研究	学術情報委員会	一部に課題はあるが、計画の方向性は維持	一部修正・補足を要する	成果・課題・KPIの対応関係を明確化	改善指示あり
社会貢献	社会連携委員会	一部に課題はあるが、計画の方向性は維持	一部修正・補足を要する	学術交流の位置づけ、成果・KPIの整理	改善指示あり
学生受入	入試実行委員会	概ね計画どおり	妥当	次期入試改革等へ接続	改善指示なし
学生支援	学生委員会	概ね計画どおり	妥当	資格講座等の施策効果を継続検証	改善指示なし
組織運営	大学事務運営事項 実施委員会	一部に課題はあるが、計画の方向性は維持	妥当	学生意見活用等の改善サイクルを継続検証	改善指示なし

〔内部質保証推進委員会〕
中期計画自己点検(分野別)評価

項目	内容
対 象 年 度	令和7（2025）年度
分 野	研究分野
担 当 評 価 実 施 委 員 会	学術情報委員会
内 部 質 保 証 推 進 委 員 会 確 認 日	2026年8月7日
全学自己評価実施委員会による評価	一部修正・補足を要する
内 部 質 保 証 推 進 委 員 会 による 判 断	改善指示あり
改 善 事 項	下記のとおり
改 善 状 況 の 確 認	2026年度事業計画の進捗自己点検・評価において確認

No.	改善事項	改善指示の概要
1	アウトカム及びエビデンスの明確化	各実施施策について、実施内容、成果、根拠資料、未達事項及び残る課題の関係を明確にし、自己点検結果を具体的なエビデンスに基づいて説明できるよう改善する。
2	進捗状況と自己評価理由の整合	成果が確認できた事項と改善を要する事項を整理し、進捗状況から分野全体の自己評価に至る判断根拠を明確にする。
3	進捗状況・課題・改善方向性の一貫性	進捗状況、自己評価理由、課題及び改善方向性の対応関係を整理し、相互に矛盾のない自己点検・評価となるよう改善する。
4	次年度計画への接続	自己点検により把握した課題について、次年度の実施施策、KPI又はマイルストーンとの対応関係を明確にし、改善状況を継続的に確認できるようにする。

〔内部質保証推進委員会〕
中期計画自己点検(分野別)評価

項目	内容
対 象 年 度	令和7（2025）年度
分 野	社会貢献分野
担 当 評 価 実 施 委 員 会	社会連携委員会
内 部 質 保 証 推 進 委 員 会 確 認 日	2026年8月7日
全学自己評価実施委員会による評価	一部修正・補足を要する
内部質保証推進委員会による判断	改善指示あり
改 善 事 項	下記のとおり
改 善 状 況 の 確 認	2026年度事業計画の進捗自己点検・評価において確認

No.	改善事項	改善指示の概要
1	実施内容及び成果の明確化	各実施施策について、実施内容、成果、根拠資料及び残る課題の関係を明確にし、社会連携及び学術交流に係る成果を具体的に説明できるよう改善する。
2	自己評価における成果と課題の明確化	分野全体の自己評価について、成果が確認できた事項と改善を要する事項を明確に区分し、イノベーション・コモンズの実装化や学術交流等の到達状況と課題を具体化する。
3	進捗状況・課題・改善方向性の整合	進捗状況、自己評価、課題及び改善方向性の対応関係を整理し、課題と判断した根拠を明確にすることで、一貫した自己点検・評価となるよう改善する。
4	次年度計画への接続	自己点検により把握した課題について、次年度の実施策、KPI又はマイルストーンとの対応関係を明確にし、改善状況を継続的に確認できるようにする。